

## Ⅱ. 結果の要約

### 1 出生数は減少

出生数は 5,869 人で、前年の 6,070 人より 201 人減少した。

出生率（人口千対）は 6.4 で、前年の 6.5 を下回った。

合計特殊出生率は 1.46 で、前年の 1.48 を下回った。

### 2 死亡数は減少

死亡数は 12,837 人で、前年の 13,062 人より 225 人減少した。

死亡率（人口千対）は 14.0 で、前年の 14.1 を下回った。

死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 25.7 %、17.7 %、10.6 %となっている。

### 3 自然増減数は増加

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 6,968 人で、前年の△ 6,992 人より 24 人増加した。

自然増減率（人口千対）は △ 7.6 で、前年の△ 7.5 を下回った。

平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

### 4 死産数は減少

死産数は 124 胎で、前年の 125 胎より 1 胎減少した。

死産率（出産千対）は 20.7 で、前年の 20.2 を上回った。

### 5 婚姻件数は増加

婚姻件数は 3,860 組で、前年の 3,785 組より 75 組増加した。

婚姻率（人口千対）は 4.2 で、前年の 4.1 を上回った。

### 6 離婚件数は減少

離婚件数は 1,595 組で、前年の 1,686 組より 91 組減少した。

離婚率（人口千対）は 1.74 で前年の 1.81 を下回った。

※表中の数値は、四捨五入によっているので、端数において合計が一致しない場合がある。

### 7 「Ⅳ 統計表」の過去の数値について

平成 16・18・21～29 年の統計表について、厚生労働省から修正の報告があったため、修正が生じた箇所には下線、今後修正される可能性がある箇所は（ ）書きにしている。